



個別の教育支援計画についてよく
お問い合わせいただく質問です。

Q 個別の教育支援計画にはどのようなことを書くのでしょうか？

A 記載内容は、お子さんの状態、お子さんや保護者の願い、支援の目標や必要な支援内容と方法（個別に必要とする合理的配慮等）、連携先の関係機関の情報等です。

Q 個別の教育支援計画と個別の指導計画との違いもよくわかりません。作成したくても実物を見たことがないので、何を書いたらよいか、イメージが湧きません。

A 福島県特別支援教育センターが作成した「コーディネートハンドブック [2020年版]」にそれぞれの計画の趣旨や参考様式、記入例が掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます。（資料のP162以降で詳しくご覧になることができます。）



Q 個別の教育支援計画を作成中ですが、記述内容等、迷うところもあり、なかなか作成が進まず困っています。どうしたらよいでしょうか。

A 各校に配置されている特別支援教育コーディネーターの先生に相談してみましょう。

Q 個別の教育支援計画を作成・活用するとどのようなメリットがありますか？

A
 ・お子さんが学校や関係機関で必要な支援を受けることができます。また、計画が引き継がれることで、新たな連携機関や進学・就職先に必要な支援を伝えやすくなります。同じような説明を繰り返し行ってきた保護者さんの負担軽減にもつながります。
 ・保護者さんと学校や関係機関が話し合う際の資料として使っていただくことで、互いに相談の目的を確認しながら話し合いをすることができます。
 ・入試（中学校・高等学校・大学等）の際の配慮申請等の資料にすることができます。

Q 個別の教育支援計画を作ると、高校入試の際に不利に働くことはありませんか？

A 不利になることはありません。計画が引き継がれ、必要な支援を受けながら学べるように準備することで、高校生活へのスムーズな移行へとつながります。

Q 個別の教育支援計画は、進学先や就職先にどのように引き継がれていきますか？

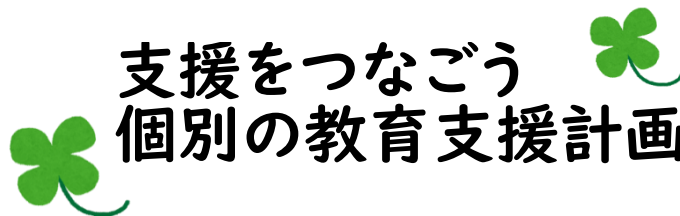
A 進路が決まったら、お子さんや保護者さんと一緒に引き継ぐ支援の内容を確認し、同意を得たうえで進学・就職先へ個別の教育支援計画を引き継ぎます。

<このリーフレットに関する問い合わせ先>

福島県教育庁 県南教育事務所 学校教育課
〒961-0971 白河市昭和町 269番地 ☎ 0248-23-1667



支援をつなごう 個別の教育支援計画



息子が時間内に黒板を
ノートに写せなくて困って
います。焦って書くと字が雑
になって、後で読んでも何が
書いてあるか読めなくて…。
どうしたらいいんだろう…。



うちの娘は3年生だけど、
書くのが苦手で、昨年から
タブレットで黒板を写真に撮
ったり、入力したりしてノー
トをとっているよ。個別の
教育支援計画を作り、支援
を引き継いでもらったから、
担任が変わっても安心だっ
たよ。



お子さんや保護者さんの願い、お子さんに合った学習方法等、大切な情報を引き継ぐことで、必要な支援とお子さんを理解してくれる方を増やし、つないでいきませんか。



個別の教育支援計画って？

- ・生活や学習において支援を必要とする子ども一人一人のニーズを的確に把握し、長期的な視点で幼児から学校卒業後までの一貫した支援を行うために作成する計画です。
- ・学校が主に作成し、お子さんに必要な支援内容や合理的配慮、関係機関の連絡先等が記載されます。
- ・学校等の教育機関は、お子さんや保護者さんと一緒に、医療や保健、福祉、労働等の各関係機関と支援の方針について共通理解をするため、計画に記載された情報を共有し、活用します。

作成にあたって ~保護者様~

- ・作成の際は、学校の担当者にご相談いただき、お子さんの学びに必要な情報提供と記載内容の確認をお願いいたします。
- ・お子さんの成長に応じ、支援内容や記載事項をご相談しますので、ご理解・ご協力ください。
- ・進級や進学の際は、引き継ぐ支援の内容等をご相談しますので、ご理解・ご協力ください。

作成にあたって ~学校の先生方~

- ・お子さんや保護者さんの理解のもとに計画を作成できるよう、作成の趣旨や目的、記載内容を十分ご相談ください。
- ・お子さんの成長に応じて、定期的に支援の内容や記載事項等を見直し、活用しやすいものにしていきましょう。
- ・進級や進学先でも必要な支援を受けることができるよう、お子さんや保護者と計画の記載事項を確認し、引継をお願いいたします。

「個別の教育支援計画」の活用事例

幼稚園と小学校との連携

引き継がれてきた支援計画には、担当するお子さんの実態や園で行われてきた支援が丁寧に記録されており、情報収集にかけていた時間が大幅に短縮され、本当に助かりました。
(小学校教諭)

校内の連携

通常の学級と特別支援学級の間で交流を行う際の目標や手立て、かわり方を共有する資料として活用し、支援しています。
(中学校教諭)
計画の保管・管理場所を共通理解することで、担当者がいつでも見て確認することができるようにしていますよ。
(中学校教諭)

中学校と高等学校との連携

知的障がい学級に在籍していた生徒の高校進学にあたり、個別の教育支援計画を用いて、現担任と進学先の担任と情報交換を行いました。本人と保護者の進学後の不安を解消し、スムーズに高校生活をスタートすることができました。
(中学校教諭)

家庭と学校との連携

個別の教育支援計画を作ったとき、「うちの子に支援が必要だということをわかってくれる先生がいてよかった。」と思いました。学校で行われてきた配慮が記録として蓄積されていたことで、高校進学の際、受験上の配慮をお願いする書類を書いたり、本人が学校に説明したりするときにとっても役立ちました。作っておいてよかったと思います。
(保護者)

